

令和5年12月21日農村まるごと保全東近江地域研修会資料

資料2-2

将来も住みやすいむらを目指して

～多面的機能支払交付金を活用した村づくりについて～



まるごと活動組織
当目町エコクラブ

長浜市(旧浅井町)当目町の位置

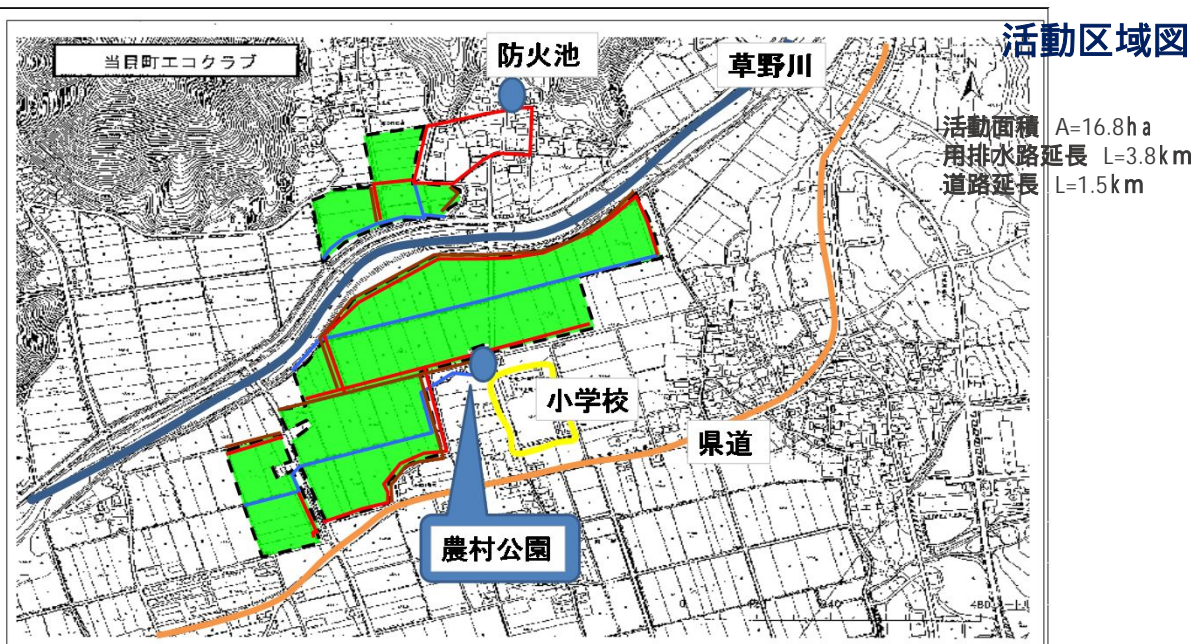


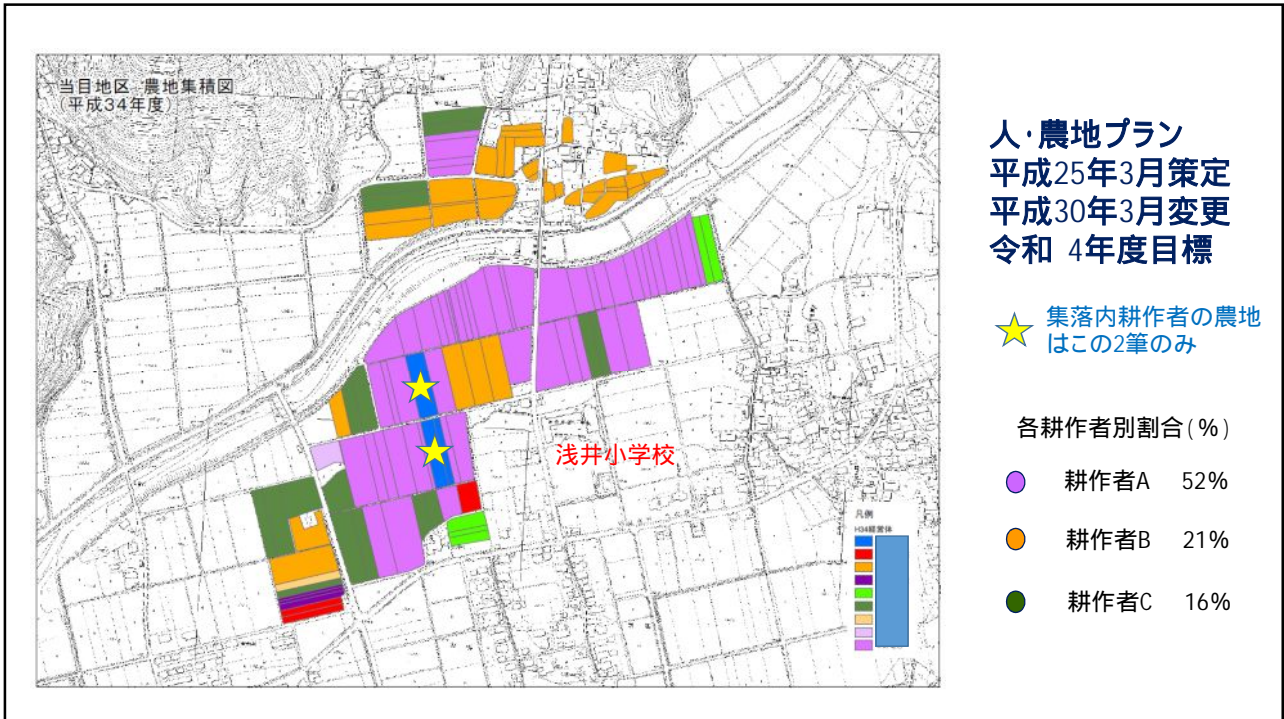
当目町の概要・特色

集落戸数 33戸(うち不在戸数 5戸)
 集落人口 86人(高学生以下の子供の数 10人)
 農地面積 約20ヘクタール
 農家戸数 1戸(集落農地のほぼ全てが入り耕作) 農地所有者23名
 地域特色 山麓に位置し、獣害が多い。耕作放棄地ゼロ
 (サル、イノシシ、シカ、クマ、ハクビシン等)

当目町エコクラブの特色

- ・集落内農家の耕作面積が1ha未満にもかかわらず活動を行っている。
- ・土地持ち非農家、非農家により、用排水路・道路等の草刈り作業を実施している。
- ・活動を通じ、集落内コミュニケーションが深まっている。





当目町における各種事業の取り組み状況

事業名	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	
地域用水機能増進事業(湖北土地改良区)	社づくり委員会		先進地研修	防火消火整備	公園整備																		
きらめきアップ事業(長浜市)				春年展	当目書話																		
コミュニティ助成事業(宝くじ事業)						水餃新調																	
淡海エコフスター事業(滋賀県)																							
地籍調査事業(長浜市)																							
鳥獣害に強い地域づくり支援事業(長浜市)											獣害電報												
人・農地プラン											策定												
農村まるごと保全向上対策(2期)												1期	2期	3期									
同上(長寿化対策)																							
同上事業国制度移行						1期対策					2期対策	多面的	法制化										

事業名	事業主体区分	補助率	事業内容
地域用水機能増進事業(ハード、ソフト)	湖北土地改良区(農水省)	地元10%	当地域を所管する湖北土地改良区が、地域用水機能を支える組織とその活動に支援する事業(事業完了済み)
きらめきアップ事業	長浜市	地元なし	地域活性化のための集落活動支援事業
コミュニティ助成事業(宝くじ事業)	日本宝くじ協会	地元なし	コミュニティ活動に必要な備品(地域文化への支援)の整備事業
淡海エコフスター事業	滋賀県	地元なし	農道、河川等の景観が管理する施設のごみ拾いの環境美化のための活動支援事業(現在は補助金なし)
地籍調査事業	長浜市(国交省)	地元なし	境界の確定をおこない、地籍を確定し、正確な地図を作成する事業
鳥獣害に強い地域づくり支援事業	長浜市	地元なし	長浜市鳥獣害対策協議会が獣害対策用備等の資材費購入を支援する事業(農業共済組合からも支援あり)
農村まるごと保全向上対策(2期)	長浜市(農水省)	地元なし	農地・水環境保全向上対策 農地・水保全管理支払交付金 多面的機能支払と国の制度変更があったが、滋賀県は、滋賀県世代をつなぐ
同上(長寿化対策)	長浜市(農水省)	地元なし	まるごと保全向上対策事業として実施している。



防火池整備 (平成17年度地域用水 機能増進事業)

竣工記念まつりの様子



材料費の支給を受け直営作業で製作



親水公園整備 (平成18年度地域用水 機能増進事業)

ほ場整備で生み出した
非農用地に整備



伝統文化継承活動
 当目保存会 八幡神社 奉納踊り
 (自治会活動:交付金対象外)



地域協議会能楽全国大会 地域協議会による習がなまつり大会がはまのこまなみ会場

日本の祭り、習がなまつり 2016

平成28年10月29～30日開催



当目町エコクラブ活動の状況

施設点検・診断



草刈り作業

(用水路・排水路・道路敷き草刈り年3回実施)

参加者のほとんどが非農家・土地持ち非農家



泥上げ作業



環境学習(生物観察会)



令和5年8月

令和5年度観察会



環境保全活動
(コスモスの植栽)



先進地研修
(京都府与謝野町
温江中山間地委員会)
令和2年2月

三重県いなべ市活動組織の視察受入れ(令和5年11月)





水路目地補修作業

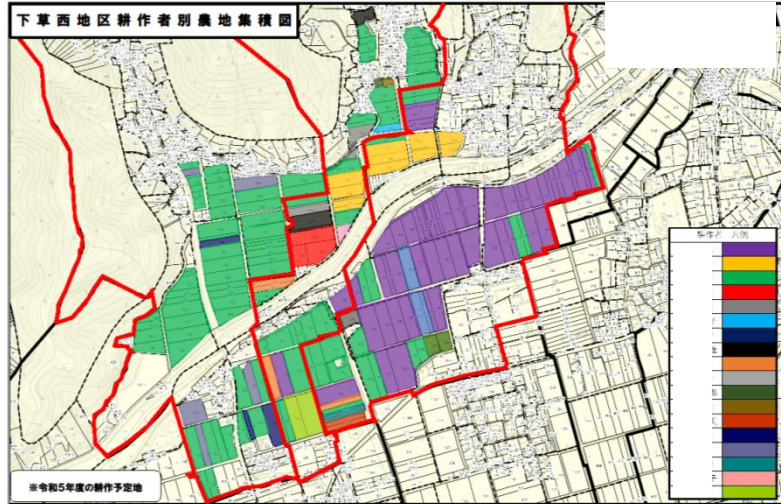


取水ゲート施設の
の修繕作業

平成29年3月



下草西地区経営体育成基盤整備事業(R7～実施予定)



構成員のほとんどが非農家や土地持ち非農家 なのに活動を実施している理由

- ・平成14年度からの各種事業を進めるうえで住民の積極性、協調性、世代間交流等が醸成された
- ・事業を進めるための検討会、ワークショップや先進地研修等の手法を体験してきた
- ・事業により集落環境が良くなる実感を多くの住民が感じた
- ・農地や施設の状況を把握する機会が無かったが、耕作者に安心して耕作をしてもらえる環境整備の必要性を共有することができた
- ・補助事業はハード、ソフト両面で集落を潤すツールとの認識が深まった。

課題と今後の対応方針について

○課題

- ・令和7年度には、100%入り耕作となってしまう状況でいかに活動を続けるか。
- ・新たな若い構成員が増えない中、高齢化が進み活動が継続できるか。

今後の対応方針

- ・何とかあと10年間くらいは、現在の構成員で細々と活動は可能か。
- ・活動と並行して楽しむ仕組みづくりを模索する。
- ・令和7年度より経営体育成基盤整備事業により、老朽化した用水路の更新事業をスタートします

ご清聴ありがとうございました



自治会活動
(八丈岩山登り)
令和5年11月